

作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

# 2023- Z900RS [8BL-ZR900K] POWERBOX FULL 4in1 ステンレスポリッシュ仕様



## 取付説明書

〈商品内容〉 ※サイズの単位:mm

① エキゾーストパイプ	× 4	⑤ フランジナット(M8)	× 1
② サイレンサーボディ	× 1	⑥ タイラップ(結束バンド)	× 1
③ 六角フランジボルト(M8×70)	× 1	⑦ 液体ガスケット	× 1
④ 平ワッシャー	× 2		

〈取付所要時間の目安〉  
約60分

- ※ 説明書内の画像は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状、仕上げなどが一部異なる場合があります。(一部2022年モデルの画像を使用しています。)
- ※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
- ※ 本製品にはエキゾーストガスケットは付属しておりません。車種専用サイズのを別途ご購入いただき、交換して下さい。
- ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。
- ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの車体にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しながら作業される事をおすすめします。

## ① 純正マフラーを取り外します。(マフラーは重いのでサイレンサーを先に外してからエキゾーストパイプを外す事をおすすめします。)



サイレンサーボディとマフラー本体との接合部のバンドを緩め、ボルトを抜き取ります。



サイレンサー上部を固定しているボルトを取り外し、車体に傷をつけない様にサイレンサーボディを上下左右に揺すりながら引き抜きます。固定用のボルト類は後で再使用します。



オイルパンに2点止めされている(排気ガスセンサーの配線を束ねている)ブラケットを取り外します。



排気ガスセンサーの配線を傷めない様に注意しながらセンサーをマフラー本体から取り外します。(後で再び取り付けます。)  
⚠️ センサーが外れている最中は絶対にメインスイッチに触れてはいけません!



右・ステップ内側に見えるマフラー本体固定部のボルトを取り外します。工具が届かない場合にはステップの固定(2点止め)を一旦外し、ステップをずらして作業します。



エンジン側固定部のフランジナット8個を全て取り外し、(ナットは後で再使用します)マフラー本体を車体から取り外します。重いのでゆっくりと慎重に取り外します。



リアタイヤ前方のスイングアームに付いているフェンダーは不要になりますので取り外します。取付穴3箇所にはボルトのみを戻して使わなくなったネジ穴に蓋をしておきます。



エキゾーストガスケットを新品に交換しておきます。(車種専用サイズのを別途ご購入ください。)

『ガスケット,エキゾーストパイプ』  
KAWASAKI純正品番:11061-1373

## ② POWERBOX マフラー を組み込みます。(先にエキゾーストパイプ側から仮組みします。)



エキゾーストパイプはそれぞれ組み込むシリンダーが決まっています。フランジ部分に組み込む各シリンダーの番号が打刻されています。



エキゾーストパイプを各シリンダーに緩めに仮組みします。(カクカクと動く程度)固定には純正マフラーの固定に使用していたフランジナットを再使用します。



#4 パイプ中間の溶接跡は構造上その様な作りになっています。



4本のパイプを差し込み部の面が揃う様にしてエンジンの下に集めておきます。

- ⚠️ 排気ガスセンサーをマフラーに完全に固定する前にメインスイッチをONにしますとセンサーの異常を感知してメーターの警告灯が点灯してしまいます。一度点灯した警告灯は簡単に解除できません。マフラー装着を全て完了するまでメインスイッチは絶対にONにしないで下さい。万が一警告灯を点灯させてしまった場合には専用の機材による点検、解除が必要です。車輛ご購入先のバイクショップに相談して下さい。



液体ガスケットを塗ってから組み込む



板状ステーは固定部の内側に合わせます。



板状ステーは固定部の内側に合わせます。



車体左側から見た位置関係

サイレンサーボディを組み込んで行きます。後ろ側2箇所固定部の位置も合わせながら集合部を4本のパイプに向けて均等にゆっくりと差し込んで行きます。排気漏れを避けるために4本のパイプとの接合部にはあらかじめ付属の液体ガスケットを塗ってから組み込みます。

サイレンサー上部のステーを車体に仮止めします。純正マフラーに使用していたボルト類を再使用します。

POWERBOX上部のステーを付属のボルト、ワッシャー、ナットを使用して車体に仮止めします。



サイレンサー内側とスイングアームとの隙間



オイルフィルターレンチが入る隙間を確保



BOX部分とフレームとの隙間



BOX下には構造上2ヶ所穴を開けています。

仮組みの状態、各部のクリアランスを良く確認して下さい。

転倒歴のある車輛、サスペンションの交換等によって車高が変化している車輛、スプロケットの大きさを変えている車輛などにおいてはクリアランスが少なくなりますので特に注意が必要です。また、空車時と乗車時ではスイングアームの角度が変化します。念のため車体に跨り、荷重を掛けた乗車状態でも各部のクリアランスを確認して下さい。

### ③ 本締めを行ないます。

各部のクリアランスや取付状態を再度確認し、調整しながら仮組みしていた箇所全てを本締めします。



排気ガスセンサーを取り付けます。配線に無理がかからない様に注意し、しっかり本締めします。

排気ガスセンサーの配線がたるまない様にフレームに付いているクリップを利用して束ねます。

排気ガスセンサーの配線と近くを通っている配線を付属のタイラップ(結束バンド)⑥で束ねます。



右側ステップを取り外して作業した場合にはステップを元に戻した後にリアブレーキの作動、ブレーキランプ点灯の確認を必ず行って下さい。

### ④ 作業中にマフラーに付いた汚れや油分を脱脂剤(パーツクリーナーなど)でしっかりと取り除きます。エンジンを始動し、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了となります。



- ※ 作業時に付いた汚れや油分がマフラーに付いた状態で熱が加わりますと、後で落とすのが困難になりますのでご注意ください。
- ※ 日頃のお手入れはたっぷりの水で洗車、またはパーツクリーナーで。汚れのひどい時には泡剤に吹き付けたマジックリンを使用して柔らかい布で優しく拭き上げて下さい。
- ※ 安全にご使用いただく為にも取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後は、しばらくの間マフラー内部に残った油分により、臭いや排気出口から白煙が発生する場合がありますが、徐々に収まっていきます。
- ※ 膨張室(POWERBOX)の下部分には2ヶ所穴が開いています。排気圧力及びサウンドを調整するために構造上開けているものです。排気ガスの一部がこの穴からも排出されますが問題ございません。また、車体下に燃えやすい物がある場所での長時間の暖気運転はお控え下さい。排気熱や触媒の熱によって火災を引き起こす可能性があります。
- ※ 製品によっては、サイレンサーやマフラー本体に小さな穴を開けている事があります。これは水抜き用に設けられた穴ですので、特に問題はございません。
- ※ 本製品は構造上使用状況によってアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴がたれてくる事があります。この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりませんが、排気漏れが多くなった場合には再度接合部に液体ガスケットを塗って組み直して下さい。

上記内容も合わせて良くご理解いただいた上でご使用下さい。